

議案第10号関係

- 委員長（小路正和君） 次に、議案第10号契約の変更についてを議題とします。
当局に説明を求めます。
岩船河川整備課長。

- 説明者（岩船河川整備課長） 議案第10号契約の変更について御説明いたします。

お手元の委員会資料の7ページのほうをごらんください。今回御審議いただきますのは、平成28年12月定例県議会の議決を得て契約を締結した南九十九里海岸津波対策事業の施行に関する工事等委託の契約変更でございます。

こちらのほうの平面図のほうをごらんください。九十九里沿岸の津波対策として、九十九里有料道路を津波防護施設として活用を図るため、千葉県道路公社に工事等を委託し、かさ上げ工事を現在実施しているところでございます。真亀ジャンクションより北側の区間、図面では右側の黒の実線の区間3.2キロメートルにつきましては、かさ上げ工事が完了したことから、本年7月28日に部分開通しているところでございます。残る区間5.7キロメートルにつきましては、本年12月末の全線開通を目指して進捗を図っているところでございます。

次に、変更の内容について御説明いたします。こちらの写真のほうをごらんください。こちらは、現在の不動堂インターチェンジ部を海側のほうから撮影したものでございます。手前が海側、奥が陸側となります。こちらの大きさは幅7.5メートル、高さ3.9メートルの開口部でございます。九十九里有料道路には海側と陸側を行き来するための通路などがありまして、このうち車が通れる比較的大きい3カ所につきましては、陸閘を設置する予定でございました。この陸閘の構造は九十九里有料道路の盛り土の一部になると考えまして、かさ上げ工事と一体で施工するをいたしていましたが、構造変更が必要となったことからかさ上げ工事と一体で施工せず、県のほうで施工することとしまして、当該陸閘工事に係る委託金額を減額するものでございます。

次に、常任委員会資料をもちまして議案の概要の確認をお願いいたします。お手元の7ページのほうをごらんいただければと思います。

1、契約事項、南九十九里海岸津波対策事業の施行に関する工事等委託。2、契約の相手方、千葉県道路公社理事長、金谷隆司。契約金額、当初13億9,000万円、変更後9億1,000万円、4億8,000万円の減額となります。なお、契約工期につきましては、平成29年10月31日から平成30年3月25日までの5カ月間、延長いたします。こちらにつきましては、ことし5月に発表させていただきましたが、工事箇所の一部区

間におきまして、新たに軟弱地盤対策、また地中埋設管、こちらの処理のほうの工事が必要となりまして、その対応に不測の日時を要したため、開通時期を本年7月31日から5カ月間延長し、12月までとしたところによるものでございます。

以上で説明を終わります。よろしく御審議くださいますようお願いいたします。

○委員長（小路正和君） これより質疑を行います。質疑はありませんか。
宇野委員。

○宇野 裕委員 この議案に対してちょっと質問させていただきたいと思います。3・11の災害からもう6年以上経過をしている中で、県土整備の皆様方にはさまざまな面で防災対策、将来を見据えた工事をしていただいて大変、県民全体として感謝をしているところでありますけど、まだ完全に全てが終わってるわけではございません。これから県内各地で復旧・復興、そして防災対策をしなければならないところでございます。その中の重要な九十九里沿岸の津波対策事業の一環で実施をしております九十九里有料道路のかさ上げ工事。この工事は、地域の皆さんが安心して暮らせるためにも大変重要な事業ではないかなというふうに我々自民党としても考えてるところでございます。また、去る9月28日の明け方に大変大きな雨が降りました。この雨によって工事に影響がないのかなと少し心配をしているところであります。

そこでお伺いをしたいと思います。道路公社への委託費が4.8億円の減額となるということで、本年12月末の九十九里有料道路全線開通に影響はないのか。また、先日の大雨による工期への影響はないのか。この点についてお伺いをしたいと思います。

○委員長（小路正和君） 岩船河川整備課長。

○説明者（岩船河川整備課長） 道路公社への減額分につきましては、道路のかさ上げ工事に関連しないことから、12月末の全線開通予定には変更はございません。

また、9月28日ですが、こちらの雨が時間雨量40ミリ以上、総雨量100ミリ以上の雨が降りまして、現場におきまして、のり肩の崩れなどが複数の箇所が発生しているところでございます。今後、12月末の全線開通に向けまして工事手順の精査を行うなど、工程への影響が最小限となるよう努めてまいります。

以上です。

○委員長（小路正和君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。雨は、またこれからも降るかもしれませんが、そういうことも考えながら、しっかり 12 月末に向けて頑張っていたきたいというふうに思います。

続いて有料道路の開口部対策についても少しお伺いをさせていただきたいと思います。有料道路には、海岸に往来するための、今、御説明ありました開口部があると。開口部から浸入する津波を防ぐ対策として、陸閘という施設というんでしょうか、機能を持った陸閘が必要だと。また、重要であるというふうに考えられております。東日本大震災では、陸閘等の閉鎖に関係した多くの消防団員の皆様方が犠牲となったことや、閉鎖できなかった事例があったと聞いております。

そこでお伺いをさせていただきたいと思います。東日本大震災では、陸閘等の操作に従事した多くの方が犠牲になったことを踏まえ陸閘整備に当たっての課題は何か、お尋ねをしたいと思います。

○委員長（小路正和君） 岩船河川整備課長。

○説明者（岩船河川整備課長） 陸閘整備に当たっての課題でございますが、操作員や電力などを確保できない状況におきましても、閉鎖できることが重要だと思います。また、砂が堆積した状況での閉鎖の確実性や具体の管理、運用方法などが詳細な検討を行うべき課題として考えているところでございます。

以上です。

○委員長（小路正和君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 課題が残されているということでありました。その解決に向けた今後の対応について少しお伺いをさせていただきたいと思います。

陸閘整備の課題を踏まえ、今後どのように整備を進めようとしているのか、お尋ねをいたします。

○委員長（小路正和君） 岩船河川整備課長。

○説明者（岩船河川整備課長） 実施に当たりましては、先ほどの課題を踏まえまして、さらなる知見の集積に努めるとともに、地域の安全を十分確保できる構造となるよう、詳細な構造の検討を行いまして、地元市町、関係者と合意形成を図った上で事業を進めてまいります。

以上です。

○委員長（小路正和君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。海岸線に沿って非常に砂浜の砂が風で陸側に押されたり、この陸間部分に砂が堆積したりして非常に技術的にも、また全国的にも、そういう、余り例のない陸間だと聞いておりますので、皆様方の努力によって確実に、あってはならないことでありますけれども、津波があったときに機能できるようなものをぜひつくっていただきたいというふうに思います。

また、先ほど申し上げましたように、九十九里有料道路のかさ上げ工事は津波防護のための重要な事業でありますので、一日も早い完成を要望する次第でございます。

以上であります。

○委員長（小路正和君） そのほか質疑はありませんか。

岡田委員。